

CPD ログシート

4 steps to CPD

この様式は、CPD の計画と CPD 活動の記録という 2 つの部分から成り立っています。まず **PLAN (計画)** のセクションにご自身の CPD の目標を記入してください。**DO, CHECK and ACT** のセクション、つまり活動の記録の部分には、その目標を達成するために実施された活動を記録し、またその活動を振り返ります。この CPD ログシートの期限が終わるときに、どのくらい目標を達成できたかを振り返り、次期の計画の素案を作成してください。

より詳しいガイダンスは IRCA ジャパンのウェブサイト https://japan.irca.org/IRCA_auditor/CPD_record.html でご覧ください。

12 か月ごとに学習及び開発の目標を決定してください。知識と技能の両面において、どのような分野について、より学ばなければならないか、知識技能を更新しなければならないかと考えてみましょう。この計画は現在進行形の文書です。したがって、5 年間の更新サイクルのあいだ、常にこの文書の維持更新をおこなってください。ご自身の開発目標を特定するために、以下のような事項を考慮するとよいでしょう:

- 規格、規制及び法令、業界やご自身の専門分野に関連する変更
- ご自身の職責/職務やその目標
- ご自身の強みと弱み
- 同僚、雇用主や顧客から得られたフィードバック
- 組織や顧客の計画や要求事項
- [力量のフレームワーク](#)

Example

ご氏名:

CQI|IRCA 登録番号:

期間: 20 年 月 ~ 20 年 月

CPD の記録

PLAN (1)

目標を決定されましたら、下記の表に記入してください (5 年の間に新しく立てた目標は順次追記します。必要に応じ欄を追加してください)。新規申請/登録の更新の際には少なくとも 3 つの目標を決定し、記載してください。目標はいつでも変更可能です。

学習及び開発の目標 (Plan)
1. コミュニケーション能力、交渉し影響を与えるスキルを改善し、チームのマネジメント、同僚との業務の円滑化及び顧客ポートフォリオの管理能力を向上させる。
2. EMS 審査員資格を取得し、自分の職務の範囲を広げて、EMS 審査サービスを提供するという組織の目標をサポートする
3. プロセスのパフォーマンスを向上させ、ビジネスの成長目標に貢献する
4. 自分が実施するサプライヤー企業の監査の方法を改善する
5. 品質業務における各種変更に関する知識や技能を最新の状態に維持する
6. コンサルタントのキャリアを築くため、コンサルタントの技能を学ぶ。

Example

CPD の記録

DO, CHECK and ACT (2, 3 & 4)

年間を通じて、CPD 目標に関連して実施された活動をすべて記録してください。

1. DO の列: ご自身のCPD 目標を達成するために実施された活動を記録します
2. CHECK の列: 学習されたことと、それが計画で定めたどの目標に関連するものかを記録します
3. ACT の列: 学習されたことをどのように生かしていますか、将来どのように活用していく予定かを記録してください

ご自身の目標達成に役立つ専門的な活動はすべて記録していただけます。目安としては、年に 10 ~ 15 時間をご自身の専門能力開発に当てられるとよいでしょう。必要に応じて行を加えてください。

Activity log

Example

日程	実施した活動 (Do)	何を学びましたか (Check)	学ばれたことをどのように生かしていますか(Act)
年 月 日	マッピングと改善に関する 1 日 コースに参加した	<p>この活動は、「目標 3 プロセスのパフォーマンスを改善し、ビジネスの成長目標に貢献する」に関連。</p> <p>プロセスマネジメント、及び実施する監査や指摘事項をどのように改善できるかについて理解を深めた。</p> <p>核となるプロセスと支援プロセスの違いを理解した。プロセスの目標、境界及び測定を確立すること、課題を決定することを理解した。</p> <p>さまざまなテクニックを用い、既存のプロセスをマッピング/再設計し、改善することを学んだ。</p>	<p>我が社の核となるビジネスプロセスのレビューを実施し、改善が必要なプロセスはどれかを決定した。</p> <p>学んだことを同僚にも伝え、自分たちのグループが実施する既存の支援プロセスのレビューを計画する予定である。</p>
年 月 日	「初回会議及び最終会議のルール」に関する LinkedIn グループのディスカッションに参加した	<p>この活動は、「目標 1 コミュニケーション、交渉し影響を与えるスキルを改善し、チームのマネジメント、同僚との業務の円滑化及び顧客ポートフォリオの管理能力を向上させる」に関連。</p> <p>この LinkedIn のディスカッションに参加し、初回会議、最終会議をどのように実施することができるかについて、私の経験と知識を披露した。</p> <p>同じ分野の他の人々が何をしているか、何をもっとも重要なルールと考えているかを知る機会を得ることができた。</p>	<p>最終会議の際に、提起した不適合に対し異議を唱える被監査者に対応するときに、ここで学んだことを実際に試した。被監査者に指摘事項が適切であることを納得してもらい、これに対応することについて同意を得ることができた。</p> <p>また、以前は議論をすることに気が進まなかったチームのメンバーたちと、難しい議論を始めることができた。</p> <p>将来の初回及び最終会議に関する一連のガイダンスノートをマッピングして、同僚と共有した。</p>

Example

年 月 日	月刊 Quality World の購読	<p>この活動は、「目標 5 品質業務における各種変更に関する知識や技能を最新の状態に維持する」に関連。</p> <p>Quality World を毎月購読している。掲載されている記事は、監査業務や品質業務全般に関する最新情報獲得に役立っている。</p>	<p>監査員の役割についてプレゼンテーションを 2 つ実施し、CQI の力量のフレームワークの使い方について自分のチームにコーチングをおこなっている。チーム 10 名のうち 2 名が自身の力量向上のため審査員/主任審査員トレーニングコースを受講し、IRCA Associate Auditor に登録した。</p>
年 月 日	IRCA Knowledge 2020 年 1 月号を読んだ	<p>この活動は、「目標 5 品質業務における各種変更に関する知識や技能を最新の状態に維持する」に関連。</p> <p>記事「ISO 10015 - 品質マネジメント - 力量マネジメント及び人材育成のための指針」を読み、改訂の経緯や改訂前との違いを把握した。</p>	<p>チームのメンバーのトレーニング計画にこの人材育成のガイダンスを取り入れ、チーム内の人材育成の責任と役割を個人ごとに明確にし、計画を策定した。</p>
年 月 日	IRCA 認定 EMS コンバージョンコースに参加し、合格修了した	<p>この活動は、「目標 2 EMS 審査員資格を取得し、自分の職務の範囲を広げて、EMS 審査サービスを提供するという組織の目標をサポートする」に関連。</p> <p>法令順守を確実にしつつ、監査の計画を立てるための要求事項を理解した。 規格の重要な課題と影響を概観した。 各規格間の違いを理解した。 ビジネス上のニーズを満たす一助として、この規格を監査するスキルを身に付けた。</p>	<p>自分の会社が EMS の監査サービス提供を開始することを決定した。私が最初の監査員となり、今までのところ、EMS 監査を 5 つ実施した。また、自分のチームのトレーニングもおこなっている。</p>

Example

CPD の記録

PLAN (1) 次期 CPD サイクルに向けて

期間: 20 年 月 ~ 20 年 月

上記に詳述された CPD の目標達成を振り返り、少なくとも次の 12 か月の学習と開発の目標を少なくとも 3 つ決定してください。

学習と開発の目標 (Plan)
コーチングのスキルを改善する
顧客ポートフォリオの拡大に対応し、海外の顧客に対応できるコンサルタントになるために英語を勉強する。
環境のローカルの要求事項の変更点について知識のアップデートをする

- 私は、この文書に記載した情報は、私が実施した CPD を正確に伝えるものであることを宣言いたします。

ご氏名

お名前を入力してください

日付

日付を入力してください